

## 1. 想定項目

本調査で実施した生活支障に関する想定項目は次の通り。

滞留旅客・帰宅困難者数

観光客データを用いて、交通機関が停止することによる滞留旅客・帰宅困難者数を想定した。

医療機能支障(要転院患者数、医療需給過不足数)

地震発生直後の大量の負傷者の発生、医療機関自体の損壊、ライフラインの途絶などを考慮し、負傷者対応の医療機能支障を想定した。

住機能支障(避難所生活者数、応急住宅対策需要量等)

発災直後～約1ヶ月後の短期的住機能支障(避難所生活者)、発災後約1ヶ月後～約1年後までの中期的住機能支障(応急仮設住宅需要)及び発災後約1年後～数年以降の長期的住機能支障(公営住宅需要等)について想定した。

なお、飲食機能支障としての食料需要については、住居制約者数とほぼ同等と考え、住居制約者数×1日3食/人として算出した。また、飲料水需要としては断水世帯を対象に断水需要家数×1日3割/人として算出した。

清掃・衛生機能支障(仮設トイレ需要量、瓦礫発生量)

避難所生活者数、建物被害等をもとに、清掃・衛生機能支障を想定した。

表 1-1 生活支障の想定内容と結果表示方法

種類	想定項目	結果表示方法
滞留旅客・帰宅困難者数	滞留旅客・帰宅困難者数	観光地別集計表
医療機能支障	要転院患者数	市町村別集計表
	医療需給過不足数	市町村別集計表
住機能支障	避難所生活者数等	市町村別集計表
	応急仮設住宅需要数等	市町村別集計表
清掃・衛生機能支障	仮設トイレ需要量	市町村別集計表
	瓦礫発生量	市町村別集計表

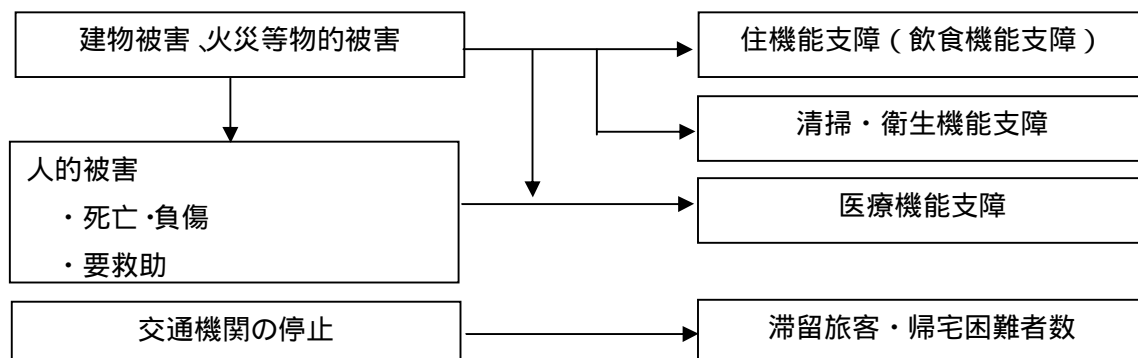


図 1-1 想定フロー